

医療面接

①本実習の良かった点

- 先生のコメントが役に立ちました
- 他の学生の実習を見られること。
- 実際のSPさんと実習することで、いつも戦い臨時感をもって、そして緊張をもって練習できた。
- 上手く項目をちゃんと聞けた。
- 他の人の医療面接も見学できてよかったです。
- 本番に近い状況で行えたこと。
- 実践できた点
- OSCEの練習はもちろん、現場でのお話も聞くことができ、大変有意義でした。
- 実際の患者さん役でご相手してくださったため、緊張感があった。
- SPさんと面接できたこと
- 授業の流れが明確に決まっており、しっかり準備されていた点。まずはレクチャー、その後生徒同士で確認したのち模擬患者さんとの面接という流れがよかったです。
- SPさんからも患者目線で多くの話を聞くことができ勉強になった点。
- 模擬患者の方を実際に医療面接をすることでとても臨場感や緊張感があり机上で勉強する何倍も効果があると思います。
- 研修医の方やSPさんから直接感想をもらえてよかった。
- 本番に近い形でOSCE対策の医療面接を行うことができた。
- 親身になって教えてくれました。
- 実際に試験のようにできた。
- 十分な練習時間でした。他の学生の様子も確認でき、自分と比較して学べる部分も多かったです。
- フィードバックもしっかりして頂き、とてもいい機会だった。
- 実際に模擬患者さんに対して面接の練習を行うことで、緊張感を持ってできたので良かったです。
- 同級生の医療面接をたくさん見られたこと。
- 実践形式で面接をさせていただけました。
- 最初に学生同士で練習する時間があったて助かりました。
- 先生やSPさんに様々なアドバイスをいただけたこと。
- 実践的であったこと。フィードバックがあったこと。
- 友人が実際にやってる姿を見ることができたのが良かったです。
- 事前に用意したシナリオで1回練習を行うことができた点。
- 模擬患者さんが来てくれた

②本実習の改善すべき点

- 特になし(23)
- 血便を聞き忘れた。聞くべきことを詰まってしまうことがあったのでもう少しスムーズにできるようになりたい。
- 時間がややタイトだったのでもう少し長めにしたいです。
- 非常に難しいとは思いますが、実習場所や待機場所をもう少しオープンな場所に設定することで、待機者が複数の医療面接を拝見できれば良かったです。

③実習の感想・要望

- 練習になりました。
- できれば練習も10分でやりたい
- 協力してくださったSPの方、ファシリテーターの先生方、ありがとうございました！！
- ご講義ありがとうございました。
- 実際に実習を行うことで緊張感があつて良い練習になりました。ありがとうございました。
- ありがとうございました
- 本日はありがとうございました。テスト本番に近い環境で練習させていただいて、とても勉強になりました。緊張した自分が今どこまでやれるかを確かめることができました
- 非常に有意義でよかったです。
- 問診の練習をもう少し増やして欲しい
- ありがとうございました。SPさんと接してみても緊張感のある中で練習できました。
- 非常に良い経験になりました。
- たのしかったです。
- 将来にも活きる、非常にためになる実習でした。
- 上手に進められるようにもっと練習したいと思いました。
- 評価ポイントが明確で良かった。
- 良い練習になった。
- とてもいい練習になりました。ありがとうございました。
- 有意義な時間でした。模擬患者さんと先生には感謝しかありません。
- お忙しい中、ボランティアで来ていただきありがとうございました。本当に勉強になりました。
- 有意義な時間をくださり、ありがとうございました。
- とても勉強になりました。ありがとうございました。
- たいへん勉強になりました。ありがとうございました。
- とても勉強になりました、ありがとうございました。
- とてもよかったです。先生方も模擬患者さんもありがとうございました。
- 実際にspさんと練習できて良かった。
- 学生同士の練習だけじゃ得られないフィードバックを沢山いただけたので、非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- 医師の先生に良かった点悪かった点をフィードバックしていただきとても勉強になりました。ご指導ありがとうございました。
- OSCE前に模擬患者さんと医療面接を行うことができ、大変勉強になりました。貴重な機会をいただきありがとうございました。
- 模擬患者さんや現場に出ている医師の先生からフィードバックを貰えてとても勉強になりました。
- アドバイスたくさんもらえて、2回もできて良かったです。
- 実践に近い形の中で緊張感を持って練習できて、自分がどれくらい緊張するかや、どういう所で聞き忘れたりしやすいかが分かりました。実際に患者さん役をSPさんがやってくれたことでいつもより緊張感を持って取り組むことができました。また、本番の雰囲気も掴めたことが良かったです。

- ・ 実際の緊張感を体験できてよかった。
- ・ ありがとうございます。
- ・ お忙しい中ありがとうございました。とてもいい経験ができました。この実習で得られたことを活かしてこれからも頑張りたいと思いました。
- ・ 先生が非常に熱心な方で、OSCE対策だけでなく、実臨床からの視点でもフィードバックをいただけて、非常にありがたく思っている。
- ・ ありがとうございます
- ・ 実際の緊張感のもと実習ができて非常によかったと思います。
- ・ とても良い実習でした。ありがとうございました。
- ・ 臨床に近い環境で経験を積むことで今後のためになった。
- ・ とても緊張しました。
- ・ OSCE前のいい経験になって良かったです。何を つめて練習すべきかが明確になりました。
- ・丁寧な授業ありがとうございました。
- ・ ありがとうございます。
- ・ とてもいい機会でした。
- ・ 緊張していましたが、すぐに具体的なフィードバックをいただけてとても参考になりました。
- ・ ファンリテーターの先生方や学生だけではなく、実際に問診をさせていただいた模擬患者さんからもフィードバックをいただくことができました。話す内容だけではなく、話し方についてもアドバイスしていただくことができ、より明確に改善点を見つけることができました。ありがとうございます。
- ・ 実習時に緊張してしまい、一部上手できないことがありましたが、経験を積んで慣れていきます。
- ・ 学生間でのグループワークを終えてからのSPさんとの実習をしました。いままで自分が気づけていなかった様々なことに気づけ、何を覚えて何を勉強したら良いのかを理解することができました。
- ・ 実際の臨床で活かせる知識も学べました。
- ・ 模擬患者さんと交流し、緊張しましたがとても有意義に実習ができました。
- ・ お忙しい中、ありがとうございます。非常に勉強になりました。
- ・ 自分に足りない項目がわかったので、大変勉強になりました。
- ・ 時間も十分にあり、フィードバックも頂いてとてもためになった。
- ・ 実習ありがとうございました。学生同士で行うよりも模擬患者さんに行う方が試験並みの緊張感があったので、良い予行練習になりました。他の学生が練習しているところを見ることで自分の足りない点を見つけることができました。
- ・ 模擬患者さんと実際に医療面接の練習をすることで、緊張やタイムスケジュールを体感することはできました。有用な時間でした。ありがとうございます。
- ・ 模擬患者さんの前で練習できたのがよかった
- ・ ありがとうございます
- ・ ありがとうございます
- ・ OSCE前に貴重な経験をさせていただきありがとうございます。
- ・ 模擬患者さん、先生方、すごく有意義な機会を与えてくれてありがとうございます。
- ・ 本番と同じ形式で緊張感を持って行うことができました。ありがとうございます。
- ・ 実際にSPさんとできて色々な気づきがあって良かったです。
- ・ とても勉強になりました
- ・ 聞くべき項目を忘れないことと、患者さんを思いやる態度をしっかりとることを意識していきたいと思いました。
- ・ ありがとうございます。とても良い機会になりました。
- ・ ありがとうございます。
- ・ ありがとうございます。本番に備えて緊張感をもった練習ができて良かったです。
- ・ 緊張感があって、良い練習になった
- ・ とても雰囲気のある実習でオスキー本番のいい練習となりました。
- ・ ありがとうございます。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 実際に模擬患者さんに来ていただいて医療面接できるというのが本番さながらの緊張感でできて非常に有意義でした。インストラクターの先生や模擬患者さんから 講評もいただけて自分に足りないところが明確に見えて、非常に良かったです。本日はありがとうございます。
- ・ 本番で意識することを教えて頂いたので良かったです。
- ・ 本日は実習ありがとうございました。今回の実習では、自身の医療面接の定着度合いを知ることができてとても参考になりました。
- ・ 初対面の人に対して医療面接をするのが初めてだったので、とても緊張しました。中々体験できない貴重な機会なので、とてもありがたく思います。
- ・ 練習になりました
- ・ ありがとうございます。
- ・ フィードバックが非常にためになり、今後に活かすことができそうです。
- ・ 本番の前に一度本番形式で練習できたのは貴重な経験になりました。細かい項目を聞き漏らさないことを意識するのではなく、最初のオープニングセッションや解釈モデルなどコアなポイントを押さえることを忘れないようにします。